LIXIL

収納網戸 ココマ 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

注意

●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●取付けが完了するまで網戸本体を開閉しないでください。網戸本体が作動不良を起こすおそれがあります。

＜施工上のご注意（つづき）＞

ポイント

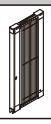
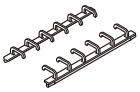
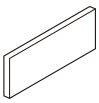
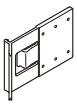
●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

●取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

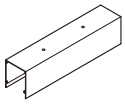
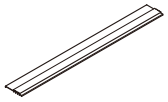
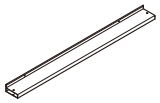
●施工中についた汚れ取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

■梱包明細表　※施工前に部材・部品が揃っているか必ず確認してください。

【1】網戸本体セット

名　　称	略　図	員　数 A	員　数 B
収納網戸		1	1
部品箱		1	1
下がり止めブラシ		10	10
ブラシストッパー		4	4
アンカープレート		4	–
パネル開き止め		1	1
パネル開き止め裏板		1	1
【1-1】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		8	–
【1-2】φ4×8 トラスタッピンネジ3種 D=8		3	3

【2】上枠・下レールセット

名　　称	略　図	員　数
上枠		1
下レール		1
上枠取付材		1

【3】戸当り・吊元枠セット

名　　称	略　図	員　数
戸当り枠		1
吊元枠		1

【4】吊元枠セット

名　　称	略　図	員　数
吊元枠		1

【5】下レールスペーサーセット

名　　称	略　図	員　数
		L12･L18
下レールスペーサー		1
下レールスペーサー 小口カバー		1
【5-1】φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		6
【5-2】φ4×60 ナベタッピンネジ1種 D=7		6
【5-3】φ4×30 ナベタッピンネジ1種		6
【5-4】S6フィッシャープラグ		6

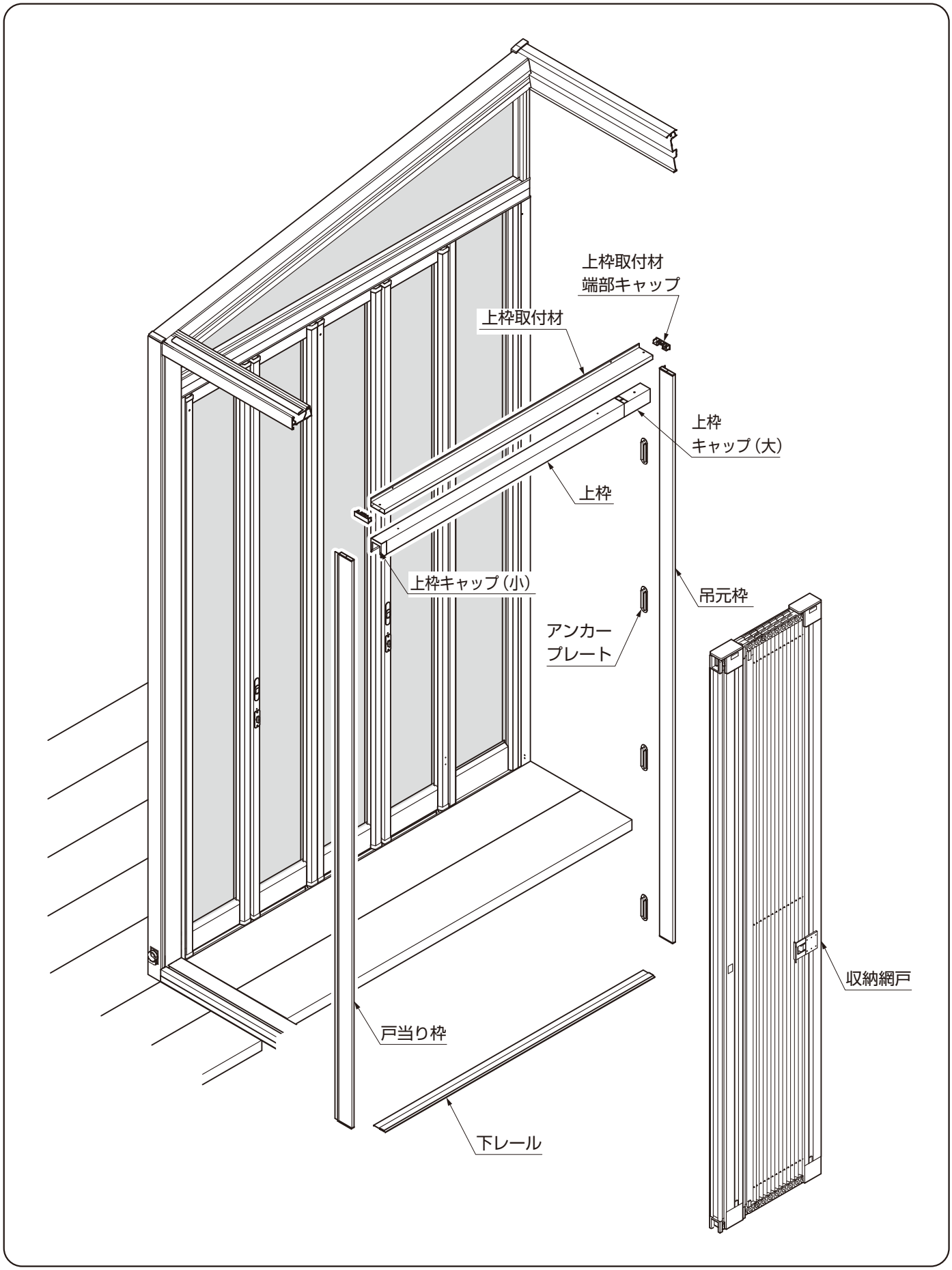
【6】下レールスペーサーベース材セット

名　　称	略　図	員　数	
		L12	L18
下レールスペーサー ベース材		1	1
【6-1】φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		5	7

【7】部品セット

名　　称	略　図	員　数
上枠キャップ（小）		2
上枠キャップ（大）		2
上枠取付材端部キャップ		4
【7-1】φ4×16サラドリルネジ		10
【7-2】φ4×60サラタッピンネジ1種		10
【7-3】φ4×40サラタッピンネジ1種		10
【7-4】S6フィッシャープラグ		10
【7-5】φ4×13サラドリルネジ D=6		12
【7-6】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		34
取扱説明書<UD083>	―	1
取付説明書<E321>	―	1

1. 各部名称

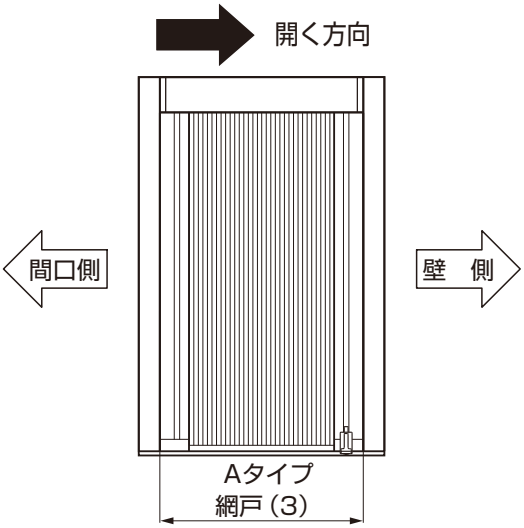


E321_201304D

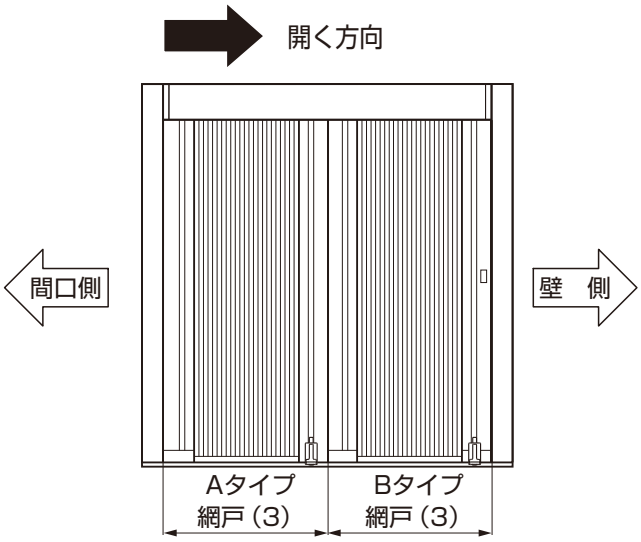
2. 網戸パネル展開図

2-1 出幅方向

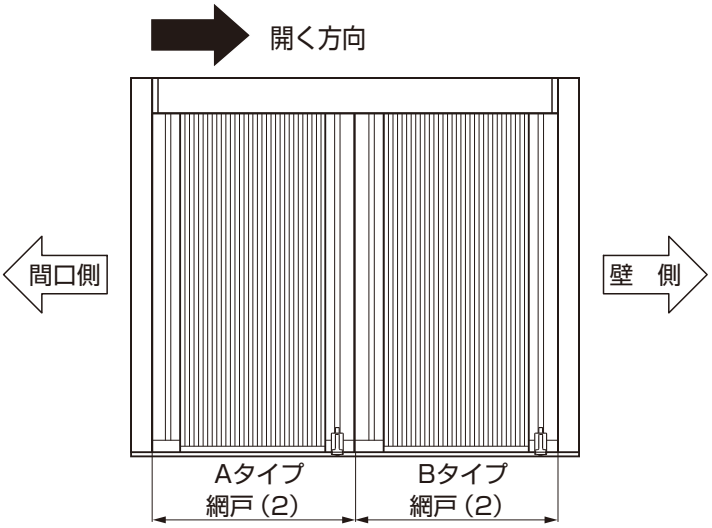
(1) 4尺



(2) 6尺



(3) 8尺



3. 床フラット仕様の場合の事前施工 ※デッキ施工、土間施工共通の手順です。

3-1 部材の加工

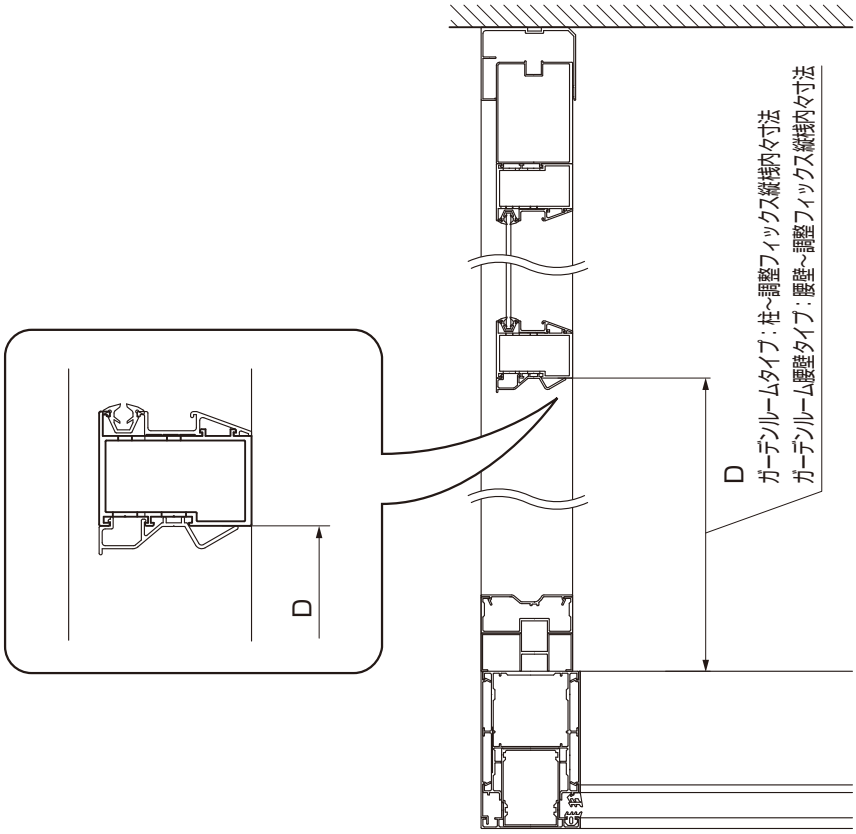


図3-1

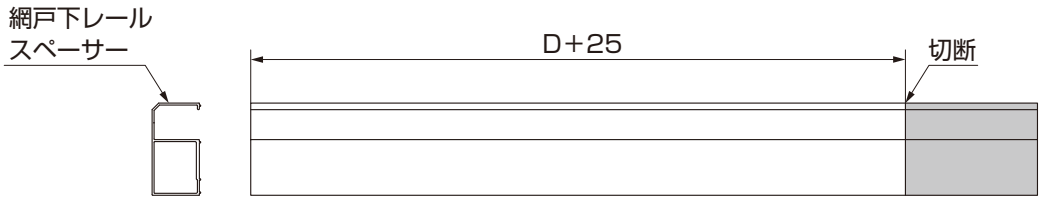


図3-2　網戸下レールスペーサー

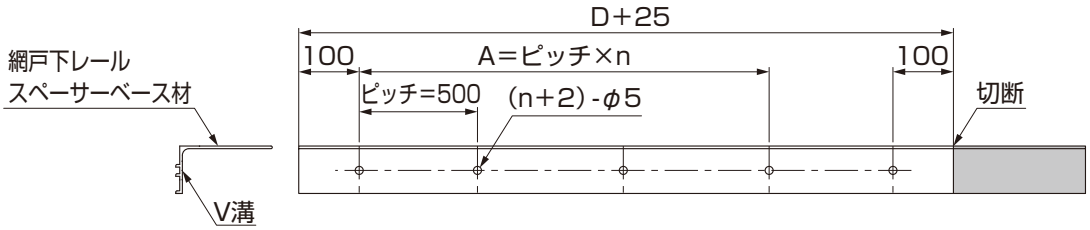


図3-3
網戸下レールスペーサーベース材（ベース材使用の土間施工の場合のみ）

①仕様によってD寸法を計測してください。（図3-1参照）
②網戸下レールスペーサーをD+25mmに切断してください。（図3-2参照）
③ベース材を使用した土間施工の場合は、網戸下レールスペーサーベース材をD+25mmに切断し、φ5の穴加工をしてください。（図3-3参照）

3-2 網戸下レールスペーサーベース材の取付け

※土間打設前に網戸下レールスペーサーベース材を側面ベース材に取付ける場合の手順です。

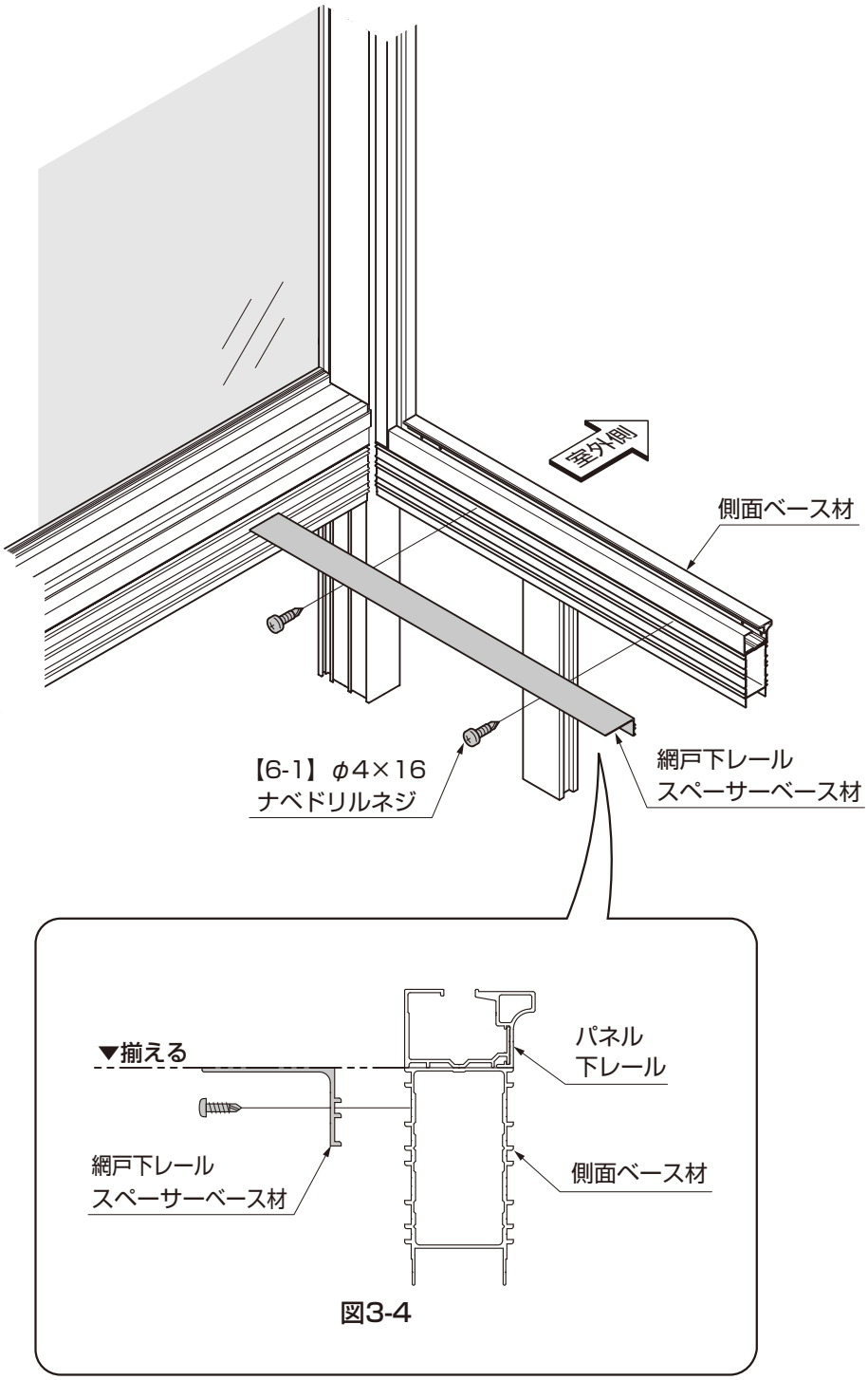


図3-4

①網戸下レールスペーサーベース材を側面ベース材に【6-1】で取付けてください。

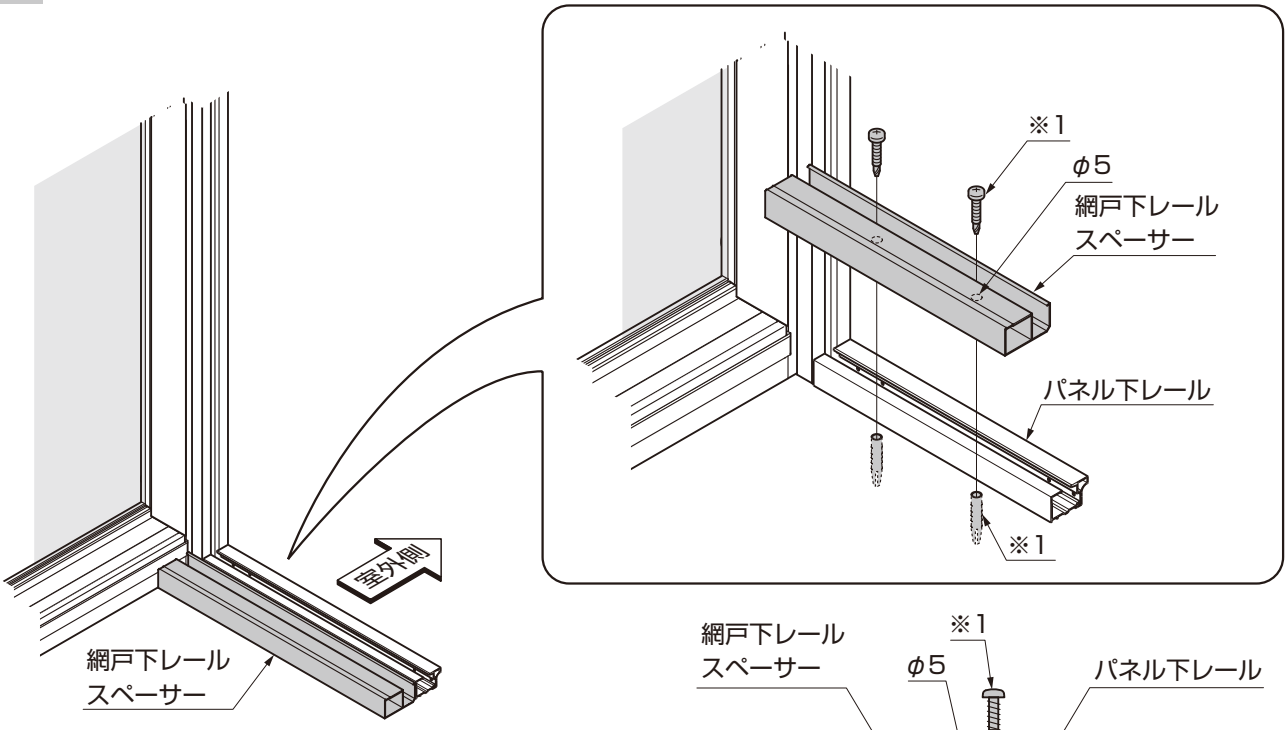
ポイント

●網戸下レールベース材は前面ベース材または腰壁に突き当たるように取付けてください。

E321_201102A

3.（つづき）

3-3　網戸下レールスペーサーの取付け



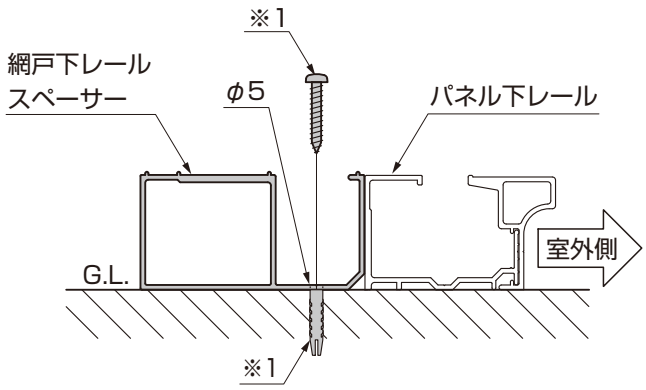


図3-5

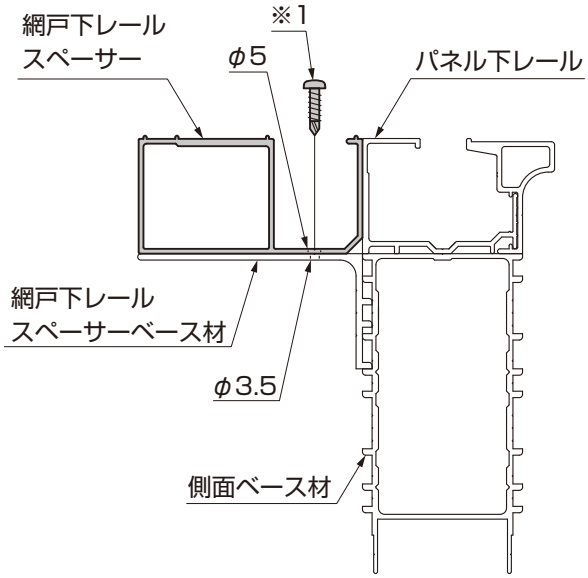


図3-6

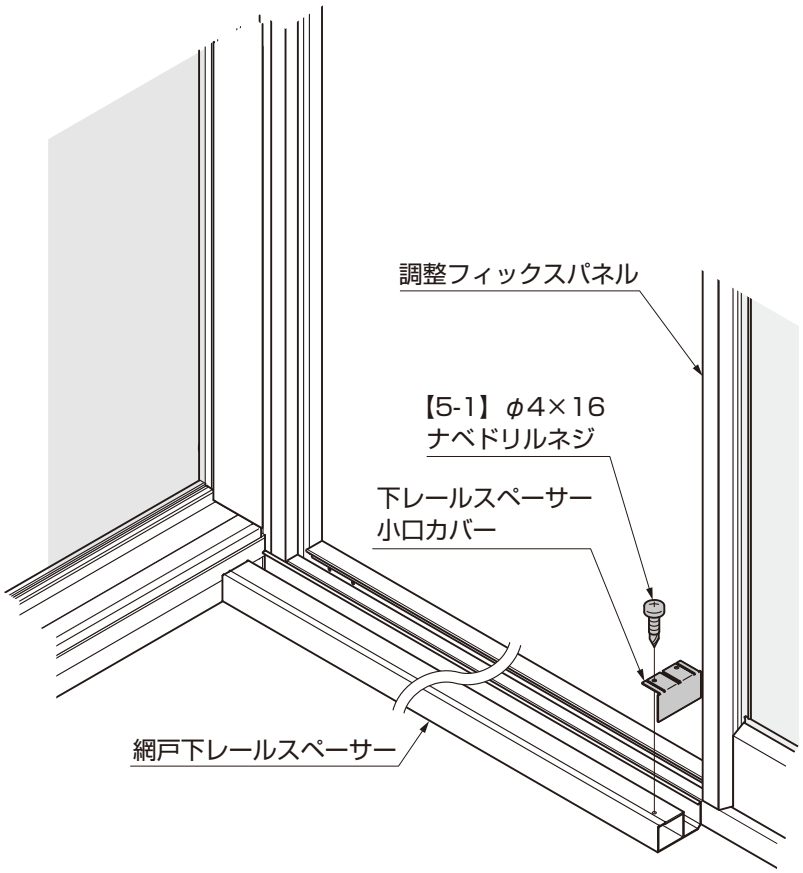
表3-1　網戸下レールスペーサー固定用ネジ一覧（※1）

固定先	下レール固定用ネジ	フィッシャープラグ
土間用	【5-3】φ4×30ナベタッピンネジ1種	【5-4】S6フィッシャープラグ
樹ら楽ステージ用	【5-2】φ4×60ナベタッピンネジ1種	不要
網戸下レール スペーサーベース材用	【5-1】φ4×16ナベドリルネジ	不要

①網戸下レールスペーサーにφ5の穴加工をしてください。
②表3-1を参照し、固定先に応じたネジで網戸下レールスペーサーを固定してください。

ポイント

●タイル施工の場合は、タイルを破損しないよう慎重に下穴をあけてください。



③網戸下レールスペーサーの調整フィックスパネル側の端部に下レールスペーサー小口カバーを当てて、【5-1】で取付けてください。

4. 吊元枠、戸当り枠の取付け

4-1 H寸法の測定

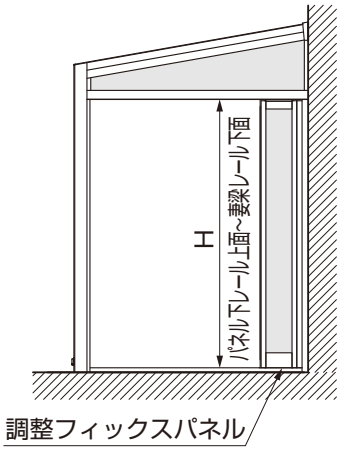


表4-1 （参考）ココマ取付説明書より抜粋したH寸法

呼称	H
H20	(下限) 1911～1914 (上限)
H22	(下限) 2111～2114 (上限)
H24	(下限) 2311～2314 (上限)

①調整フィックスパネル付近でパネル下レール上面～妻梁レール下面寸法Hを測定してください。

4.（つづき）

4-2 部材の加工

（1）戸当り枠の加工

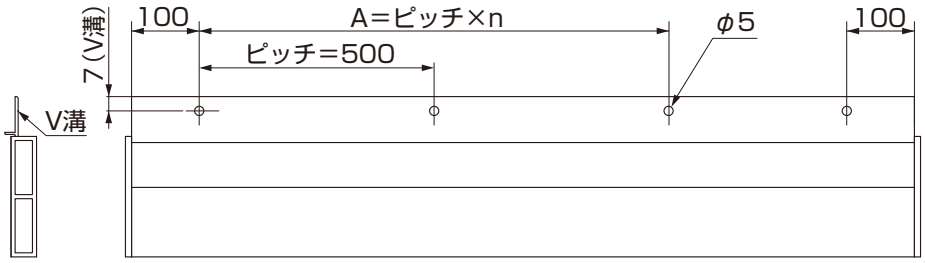


表4-2　穴加工寸法

呼称	n	A
H20	3	1500
H22	3	1500
H24	4	2000

①Hが下限より短い場合、H－4mmになるように戸当り枠を切断してください。

補 足

●Hが上限を超えている場合は、切断しないでください。

②戸当り枠のV溝の位置にφ5の穴加工をしてください。

（2）吊元枠の加工

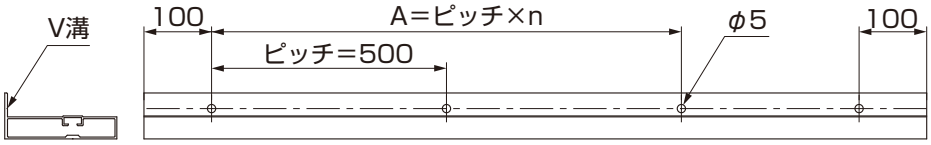


表4-3　穴加工寸法

呼称	n	A
H20	3	1500
H22	3	1500
H24	4	2000

①Hが下限より短い場合、H－4mmになるように吊元枠を切断してください。

補 足

●Hが上限を超えている場合は、切断しないでください。

②吊元枠のV溝の位置にφ5の穴加工をしてください。

4-3 吊元枠、戸当り枠の取付け

（1）取付け前の準備

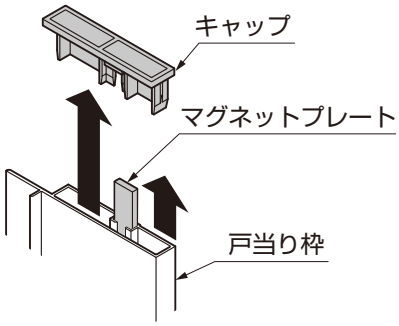


図4-1

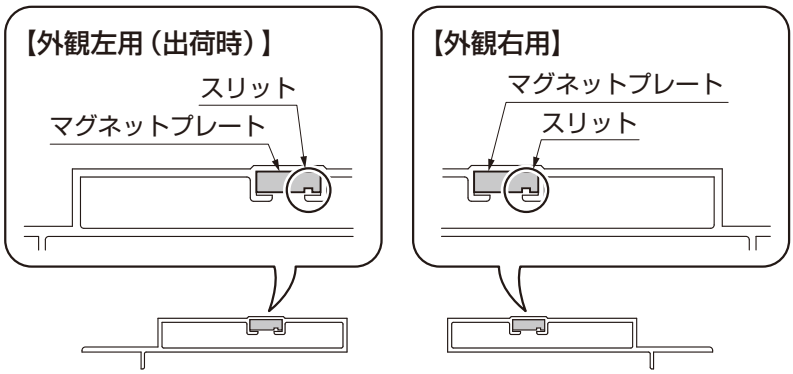


図4-2　マグネットプレートの納まり

①戸当り枠を外観右側に取付ける前にキャップを外し、中のマグネットプレートの上下を入替えてください。

ポイント

●戸当り枠を上から見た時にマグネットプレートのスリットが図のようになっていることを確認してください。（図4-2参照）

②キャップを元に戻してください。

（2）吊元枠、戸当り枠の取付け

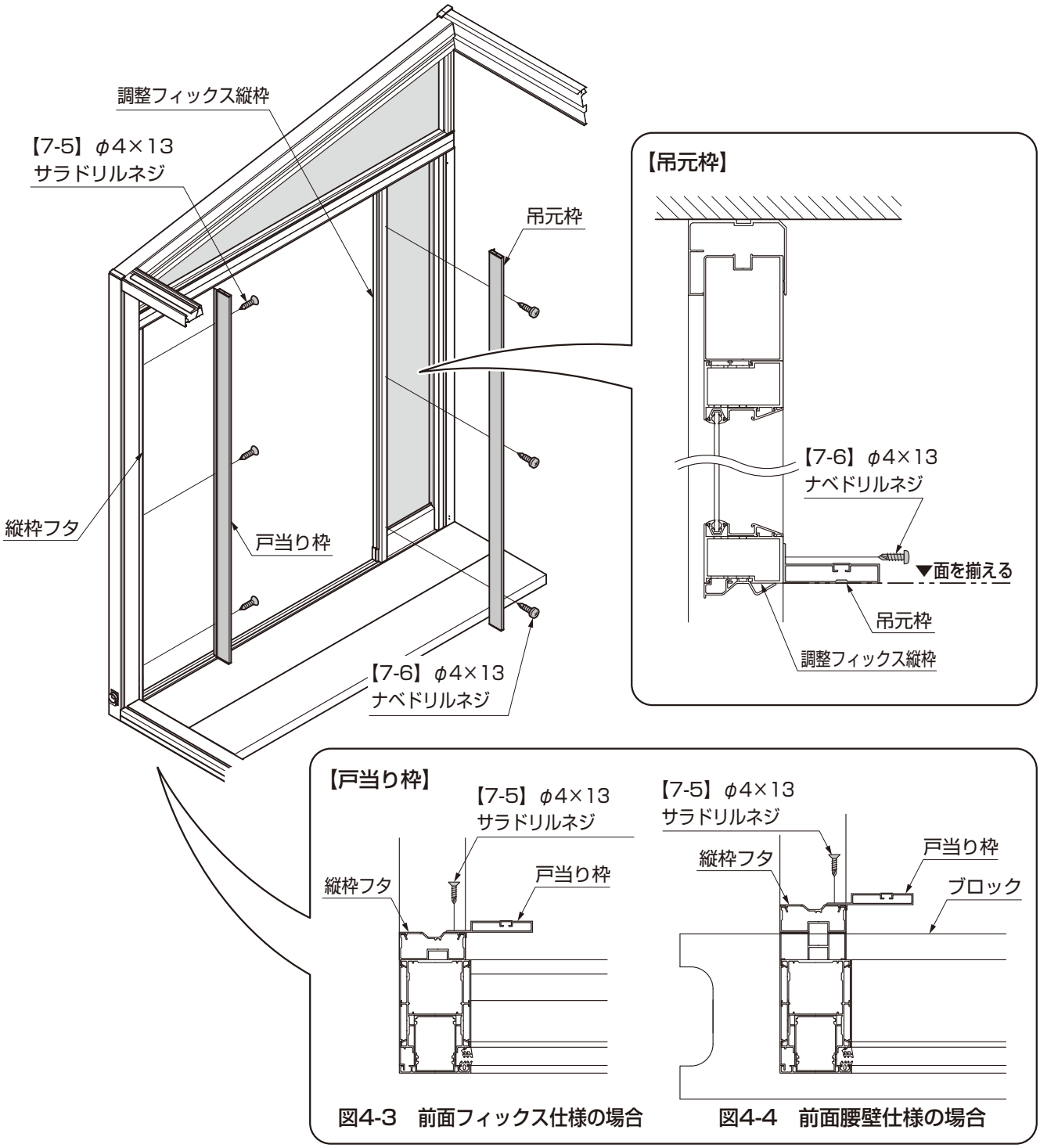


図4-3　前面フィックス仕様の場合　　図4-4　前面腰壁仕様の場合

①戸当り枠を縦枠フタに【7-5】で取付けてください。
②吊元枠を柱寄りの調整フィックス縦枠に【7-6】で取付けてください。

補 足

●上下キャップが外れないよう気をつけてください。

E321_201102A

5. 上枠取付材の取付け

5-1 上枠取付材の加工

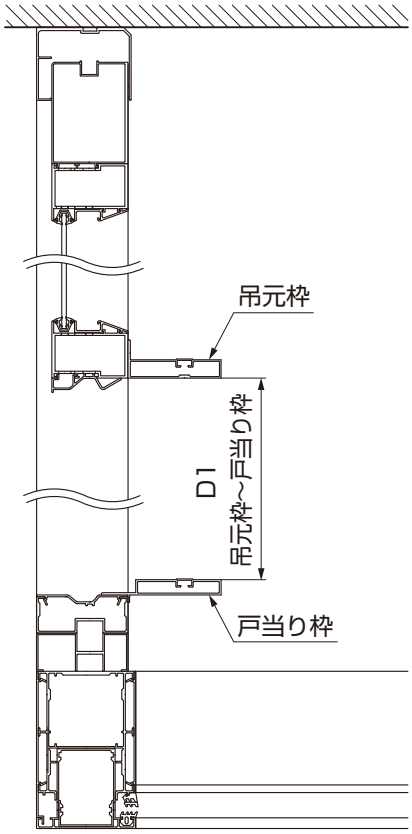


図5-1

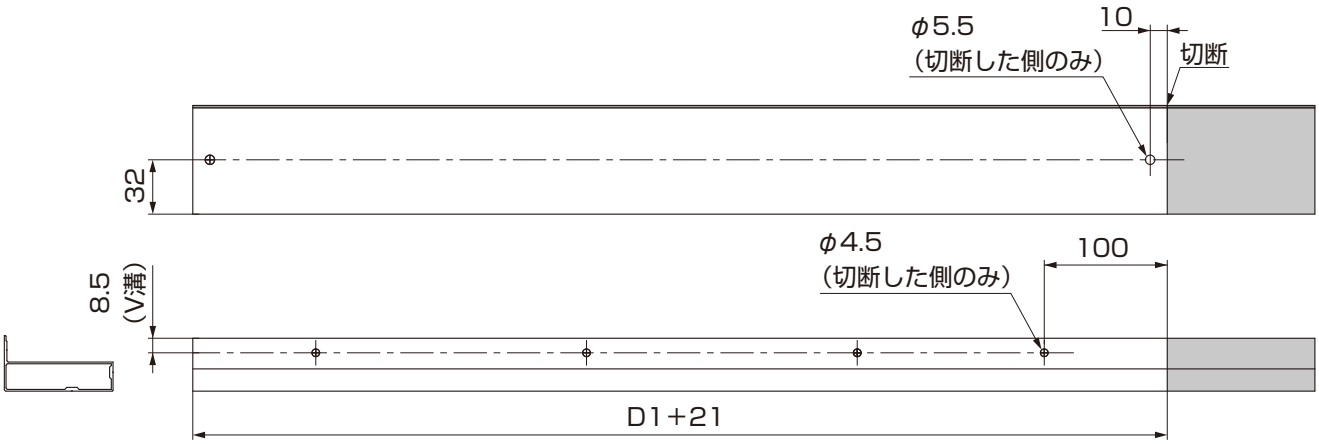
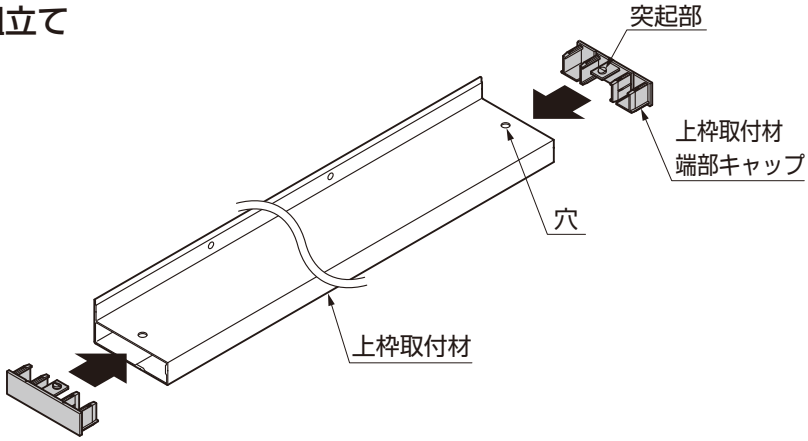


図5-2

①吊元枠～戸当り枠内々寸法D1を測定してください。（図5-1参照）
②上枠取付材をD1＋21mmで切断してください。（図5-2参照）
③上枠取付材の切断した側にφ5.5およびφ4.5の穴加工をしてください。（図5-2参照）

5-2 上枠取付材の組立て

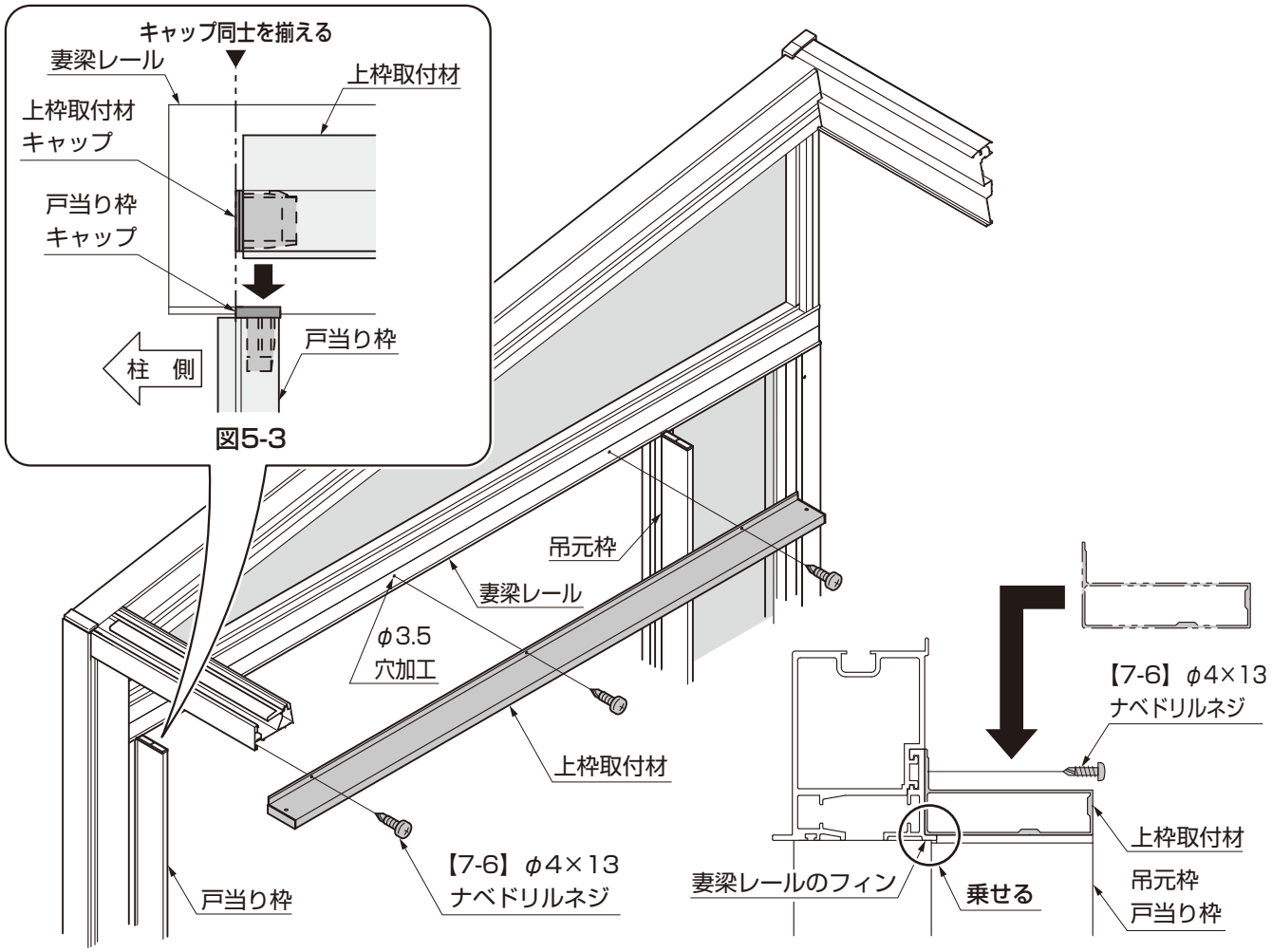


①上枠取付材端部キャップを上枠取付材にはめ込んでください。

補 足

●上枠取付材端部キャップの突起部を上枠上部の穴にはめてください。

5-3 上枠取付材の取付け



①上枠取付材を妻梁レールのフィンの上に乗せてください。
②上枠取付材の穴を下穴にして妻梁レールにφ3.5の穴加工をしてください。
③上枠取付材を妻梁レールに【7-6】で取付けてください。

E321_201102A

6. 上枠の取付け

6-1 上枠の加工

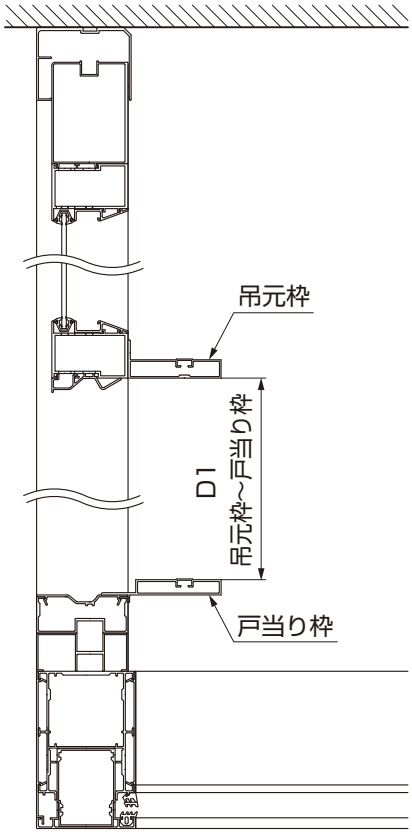


図6-1

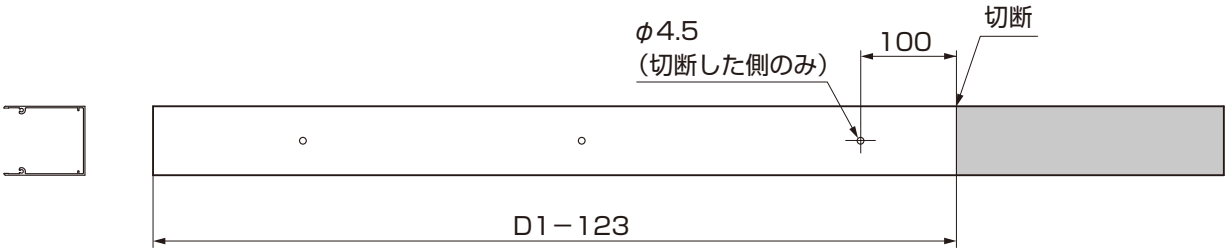


図6-2

①吊元枠～戸当り枠内々寸法D1を測定してください。（図6-1参照）
②上枠をD1－123mmで切断してください。（図6-2参照）
③上枠の切断した側にφ4.5の穴加工をしてください。（図6-2参照）

6-2 下がり止めブラシの取付け

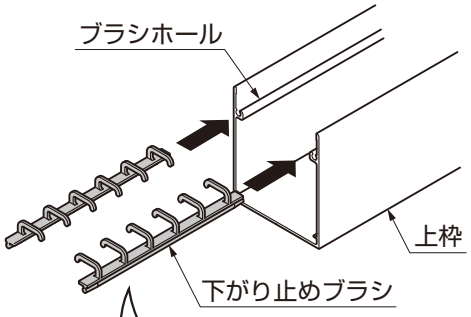


図6-3

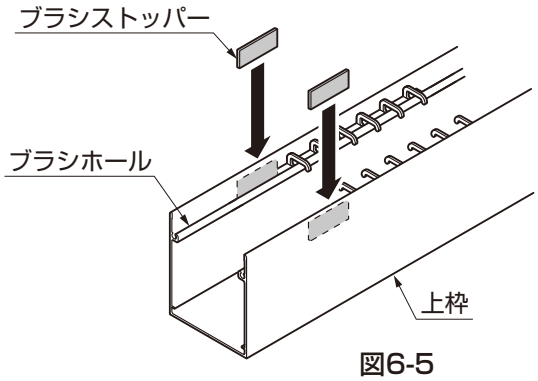


図6-5

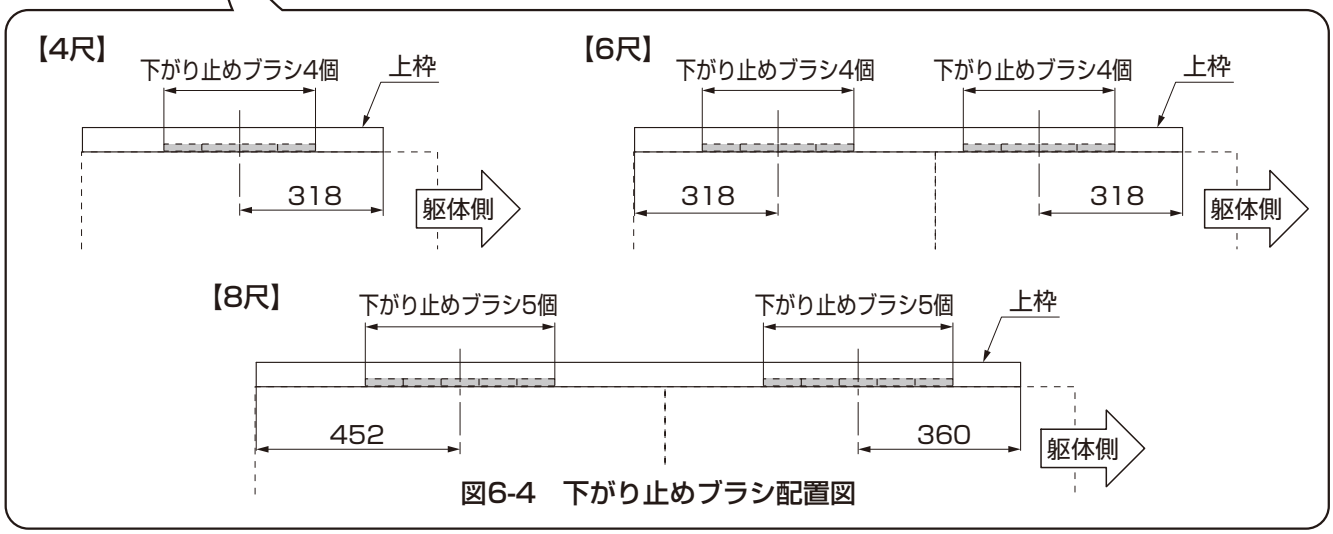


図6-4　下がり止めブラシ配置図

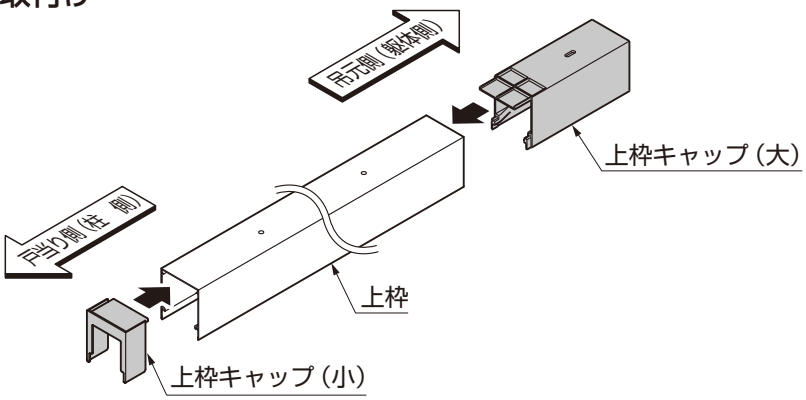
①下がり止めブラシを上枠両側のブラシホールに同数挿入してください。（図6-3参照）
②下がり止めブラシを所定の位置に配置してください。（図6-4参照）

ポイント

- ●下がり止めブラシは両側のブラシホールに同数挿入してください。
- ●下がり止めブラシは上枠両端部から150mm以内には取付けないでください。

③ブラシストッパーのリケイ紙をはがし、下がり止めブラシが動かないようブラシホールに差込み、上枠内側に貼付けてください。（図6-5参照）

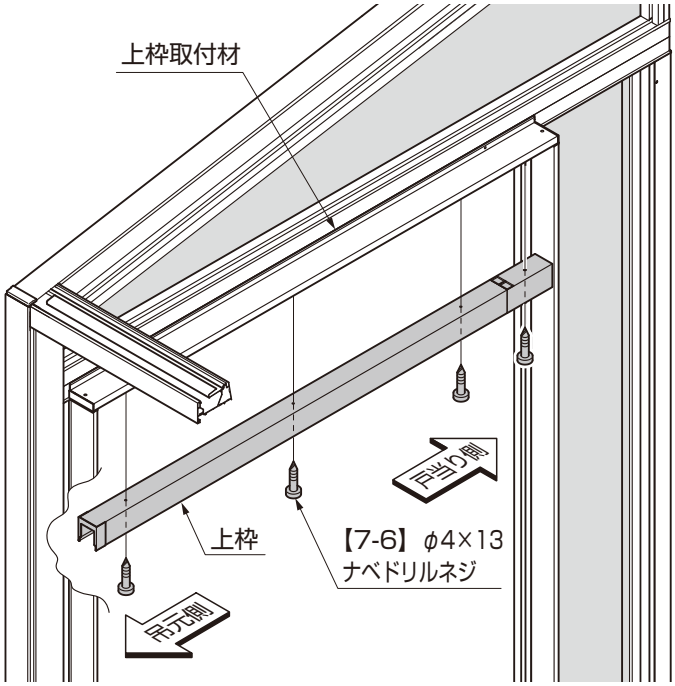
6-3 上枠キャップの取付け

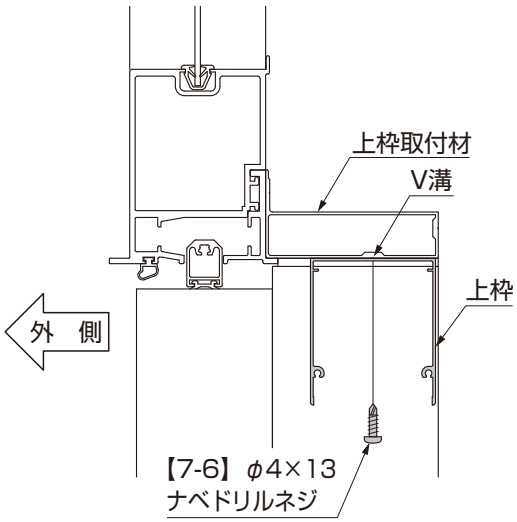


①上枠キャップ（小）を上枠の戸当り側にはめ込んでください。
②上枠キャップ（大）を上枠の吊元側にはめ込んでください。

6.（つづき）

6-4 上枠の取付け





①上枠を上枠取付材のV溝に穴の中心を合わせて【7-6】で取付けてください。

7. 下レールの取付け

7-1 下レールの加工

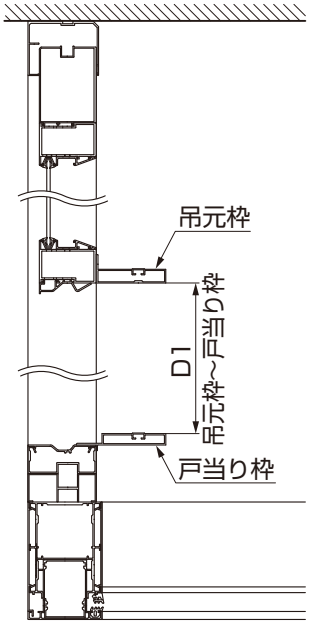


図7-1

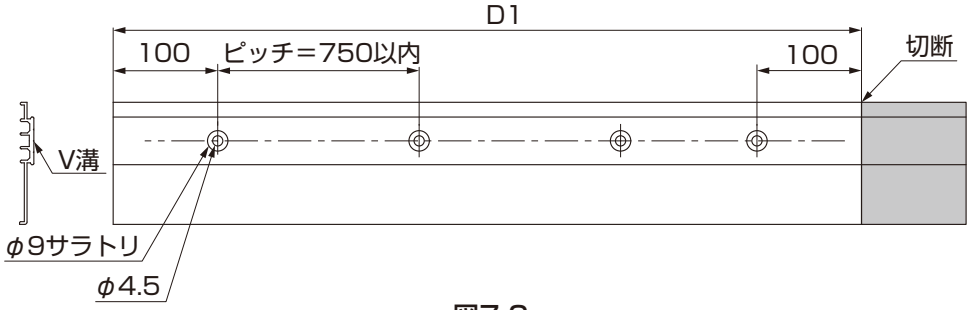
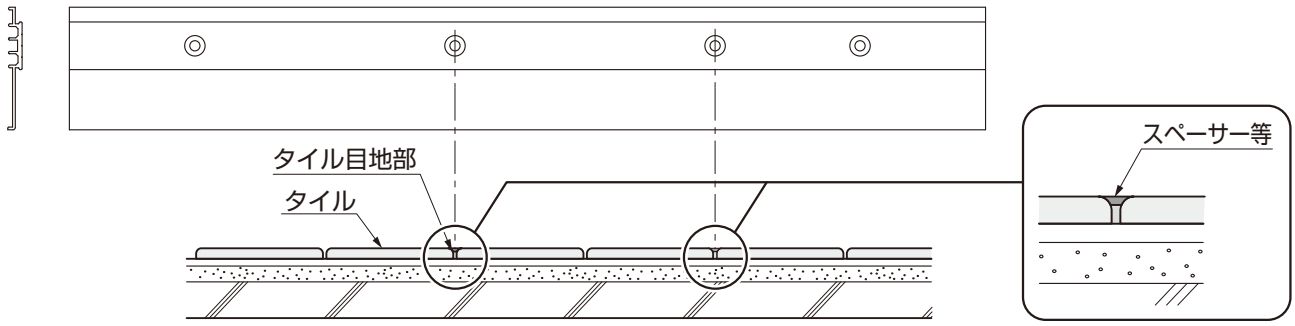


図7-2

①吊元枠～戸当り枠内々寸法D1を測定してください。（図7-1参照）
②下レールをD1に切断してください。（図7-2参照）
③下レール真ん中のV溝に穴加工をしてください。（図7-2参照）

E321_201102A

7-2 下レールの取付け



ポイント

●タイル仕様の場合、目地部分をネジ位置にする際は、目地とタイルの段差を必ずスペーサーなどで埋めてください。段差を残したままネジを取付けると、下レールが波打つおそれがあります。スペーサーは現場手配となります。

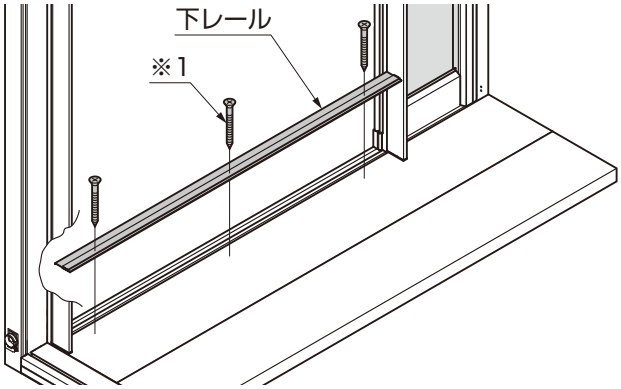


図7-3　デッキの場合

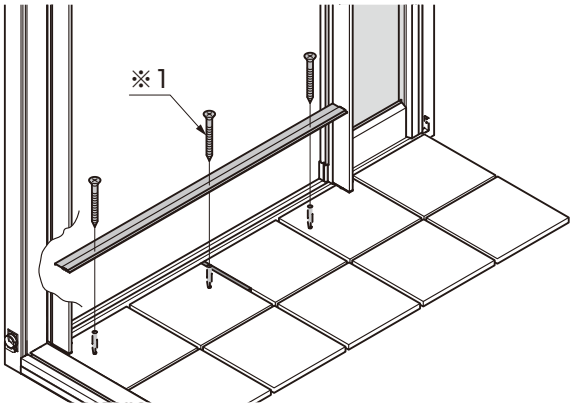


図7-4　タイルの場合

表7-1　下レール固定用ネジ一覧（※1）

固定先	下レール固定用ネジ	フィッシャープラグ
土間用	【7-3】φ4×40 サラタッピンネジ1種	【7-4】S6フィッシャープラグ
樹ら楽ステージ用	【7-2】φ4×60 サラタッピンネジ1種	不要
網戸下レール スペーサーベース材用	【7-1】φ4×16 サラドリルネジ	不要

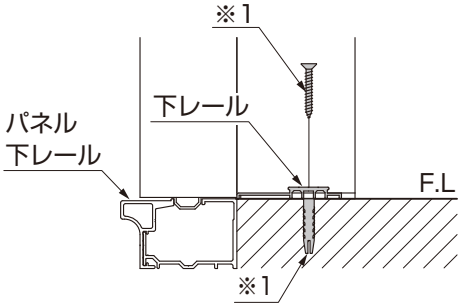


図7-5

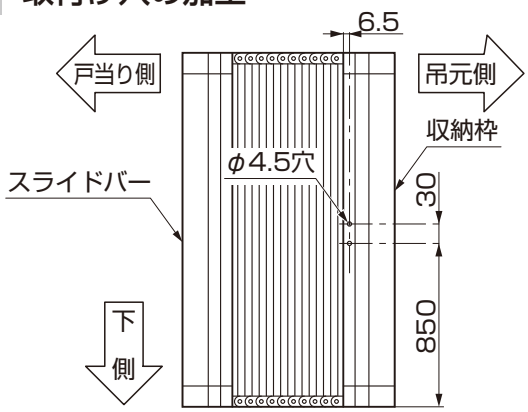
①下レールをパネルの下レールに当たるように固定してください。(図7-5参照)

ポイント

●タイル施工の場合は、タイルを破損しないよう慎重に下穴をあけてください。
●土間施工では【7-4】をあらかじめ取付けてから、【7-3】で取付けてください。

8. パネル開き止めの取付け

8-1 取付け穴の加工



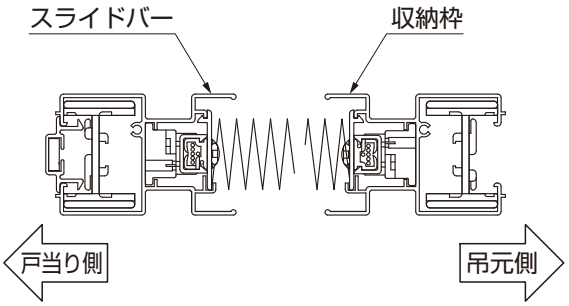


図8-1　網戸本体 内観図

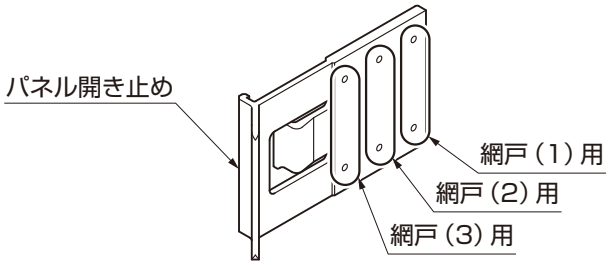
①網戸本体の収納枠の家側にφ4.5の穴加工をしてください。（図8-1参照）

ポイント

●収納枠への穴加工の際に貫通したドリルの先が網戸に当たってキズつけないように注意してください。

8-2 パネル開き止めの取付け

（1）パネル開き止めの穴加工　※取付ける網戸の幅によって穴加工位置が異なります。

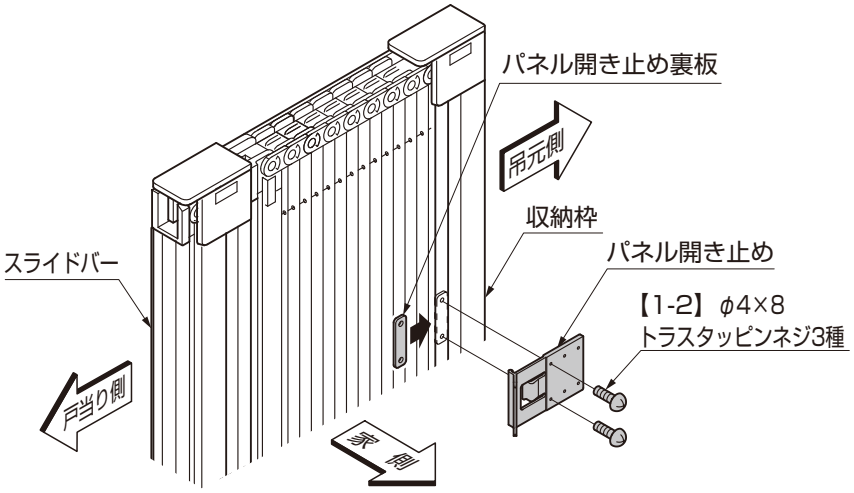


①取付ける網戸の種類に合わせて、パネル開き止めにφ4.5の穴加工をしてください。

ポイント

●網戸の幅によってたたみ幅も異なります。パネル開き止めのくぼみで固定位置を調整してください。

（2）パネル開き止めの取付け



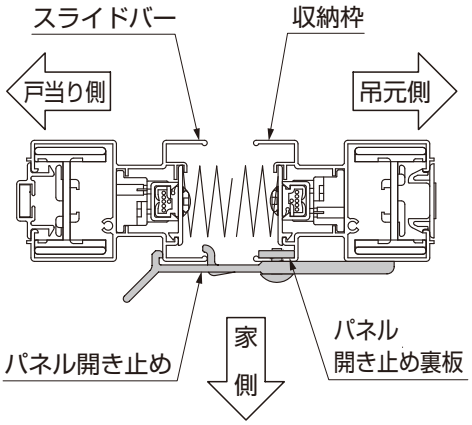


図8-2　網戸収納時

①吊元側の収納枠にパネル開き止め裏板を挿入し、パネル開き止めを【1-2】で取付けてください。

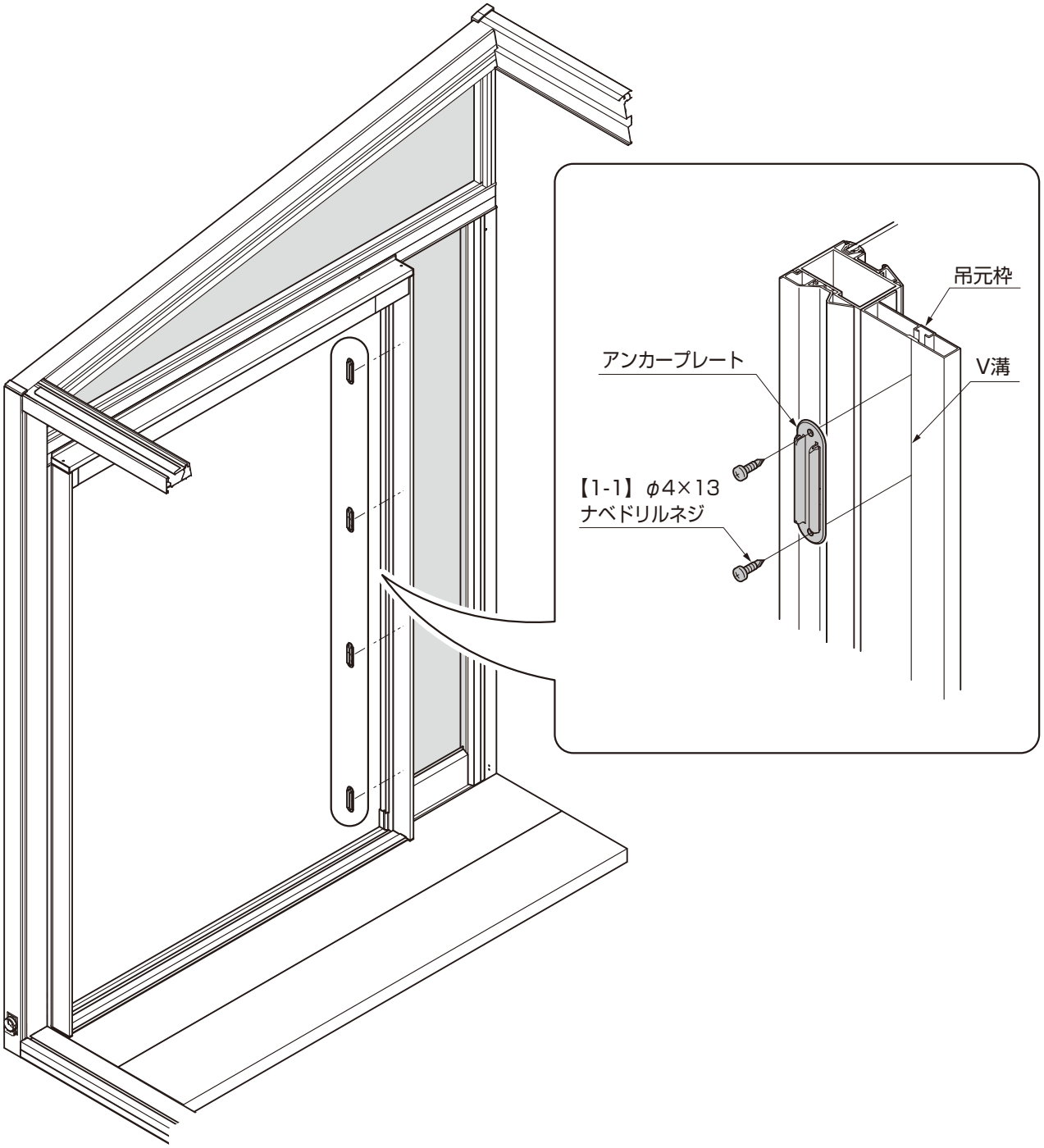
E321_201304D

9. 網戸の建込み

9-1 アンカープレートの取付け

ポイント

●取付けが完了するまで網戸本体を開閉しないでください。網戸本体が作動不良を起こすおそれがあります。



①アンカープレートのリケイ紙をはがし、吊元枠のV溝に穴の中心を合わせて貼付け、【1-1】で固定してください。

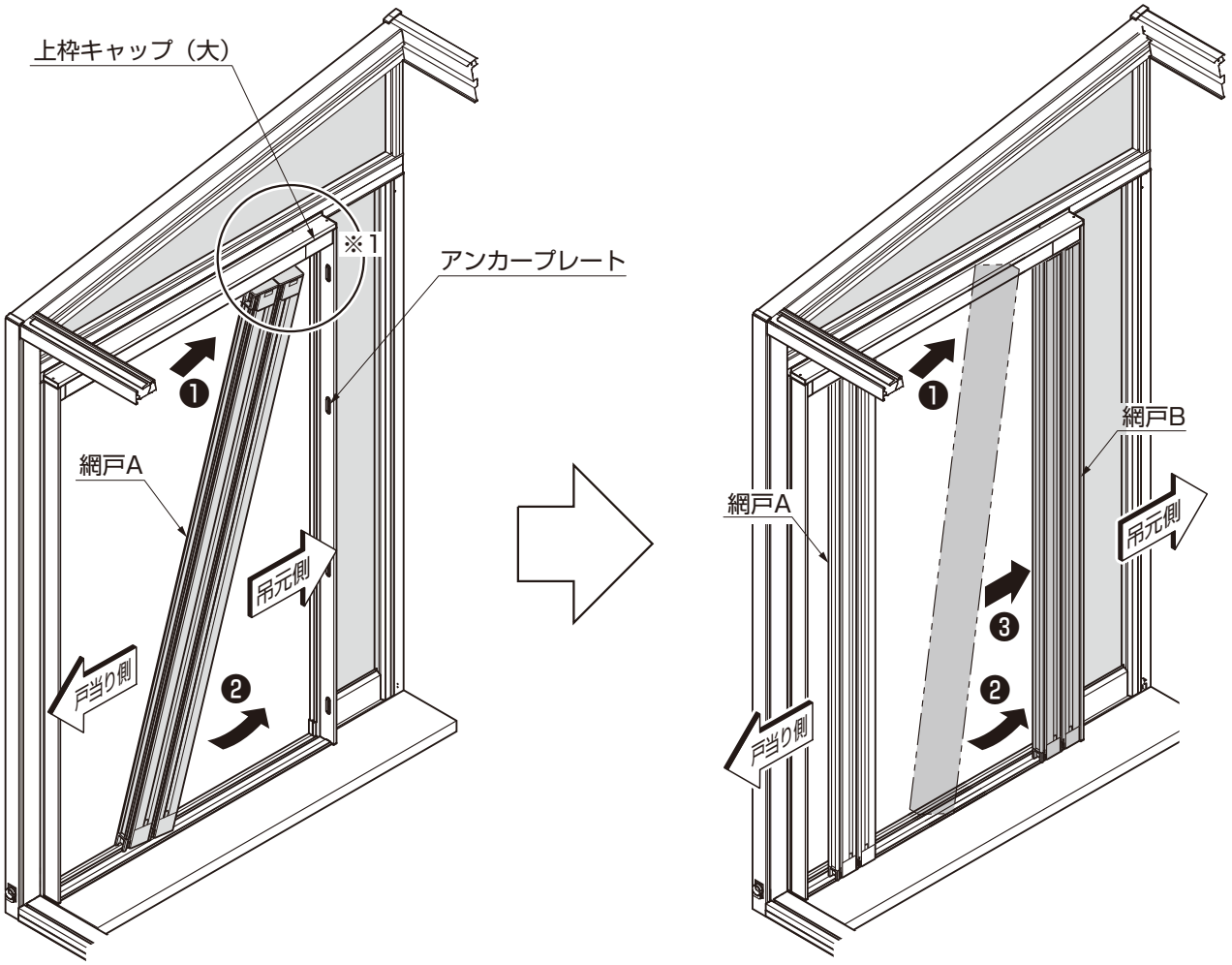
ポイント

●アンカープレートは吊元枠1本あたり4個を取付けてください。
●アンカープレートは必ず最後は手で止めてください。電動ドライバーなどで強く締めすぎたりするとアンカープレートが変形したり破損するおそれがあります。

9-2 網戸の建込み

ポイント

●網戸本体に貼ってある、「上側」シールを上にして建込んでください。

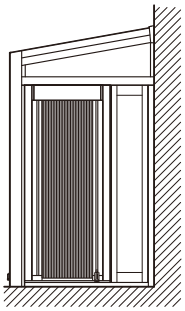


（1）4尺の場合

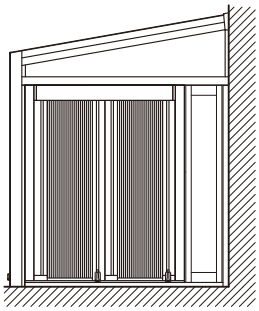
①網戸A（戸当り用）を斜めにして、上枠キャップ（大）から上枠に入れてください。（※1）
②網戸Aを吊元枠に押付けてアンカープレートにはめて固定してください。

（2）6尺、8尺の場合

①網戸A（戸当り用）、網戸B（吊元･連結用）の順で網戸を斜めにして上枠キャップ（大）から上枠に入れてください。（※1）
②網戸Bを吊元枠に押付けてアンカープレートにはめて固定してください。
③網戸Bに網戸Aを連結してください。



4尺の場合



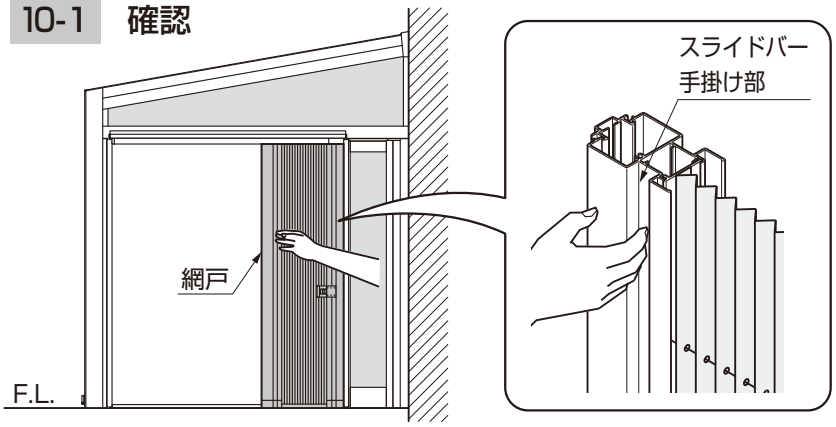
6尺、8尺の場合

ポイント

●取付け後、収納枠を引き、吊元枠から外れないことを確認してください。

10. 網戸の確認と調整

10-1 確認



①網戸の開閉に異状がないか確認してください。

補 足

●開閉はスライドバーの手かけ部に手をかけて行なってください。

10-2 調整 ※網戸の調整は基本的には不要ですが、開閉時にガタツキ等がある場合、引渡し前に行なってください。

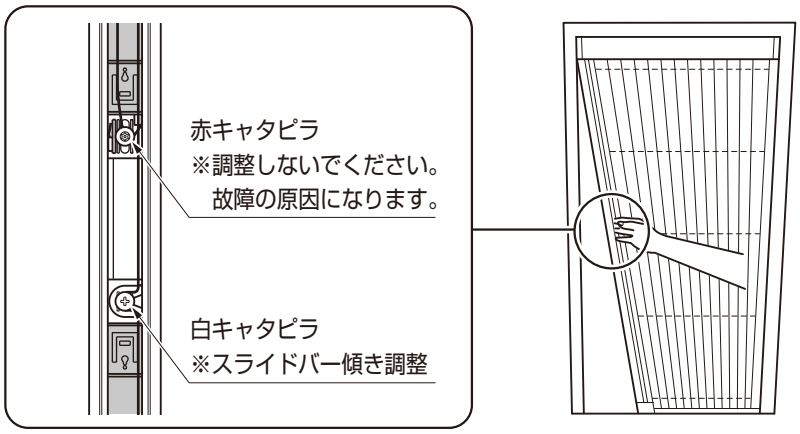


図10-1

補 足

●戸当り側又または、収納枠側の枠が図10-1のように反っていて、網戸を閉めてもスライドバーが固定されない場合に調整を行なってください。

（1）マグネットホルダーの取外し

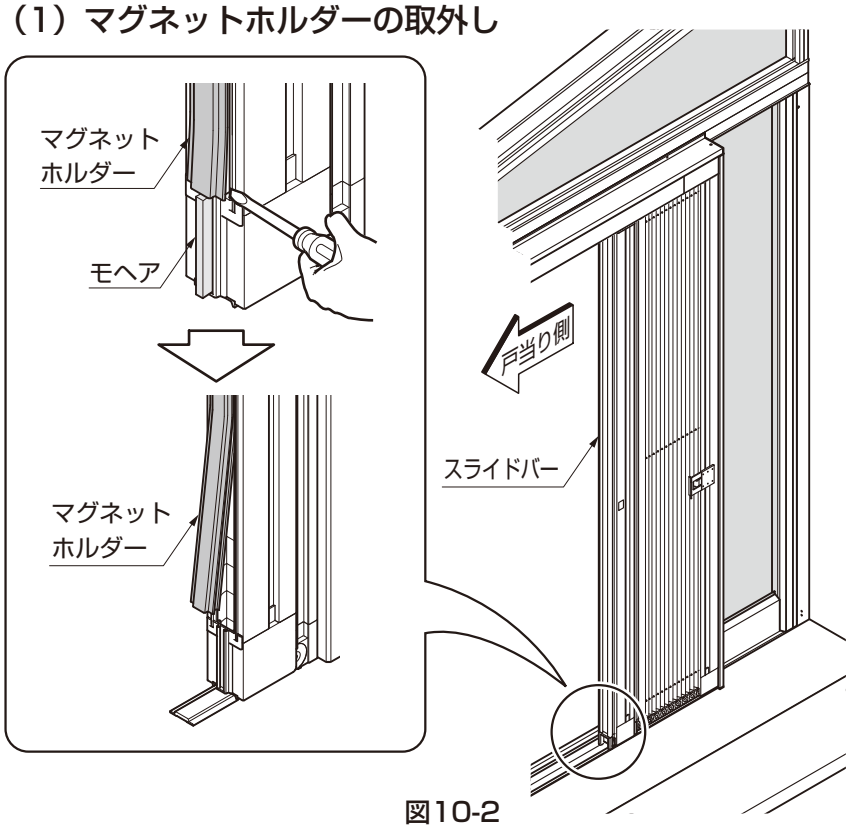


図10-2

①マグネットホルダー下部とモヘヤの間にマイナスドライバー差込んでください。

②そのままマイナスドライバーを持ち上げて、マグネットホルダーをスライドバーから取外してください。

③マグネットホルダーの外れた部分を持って、下から引きはがすように、上まで全部取外してください。

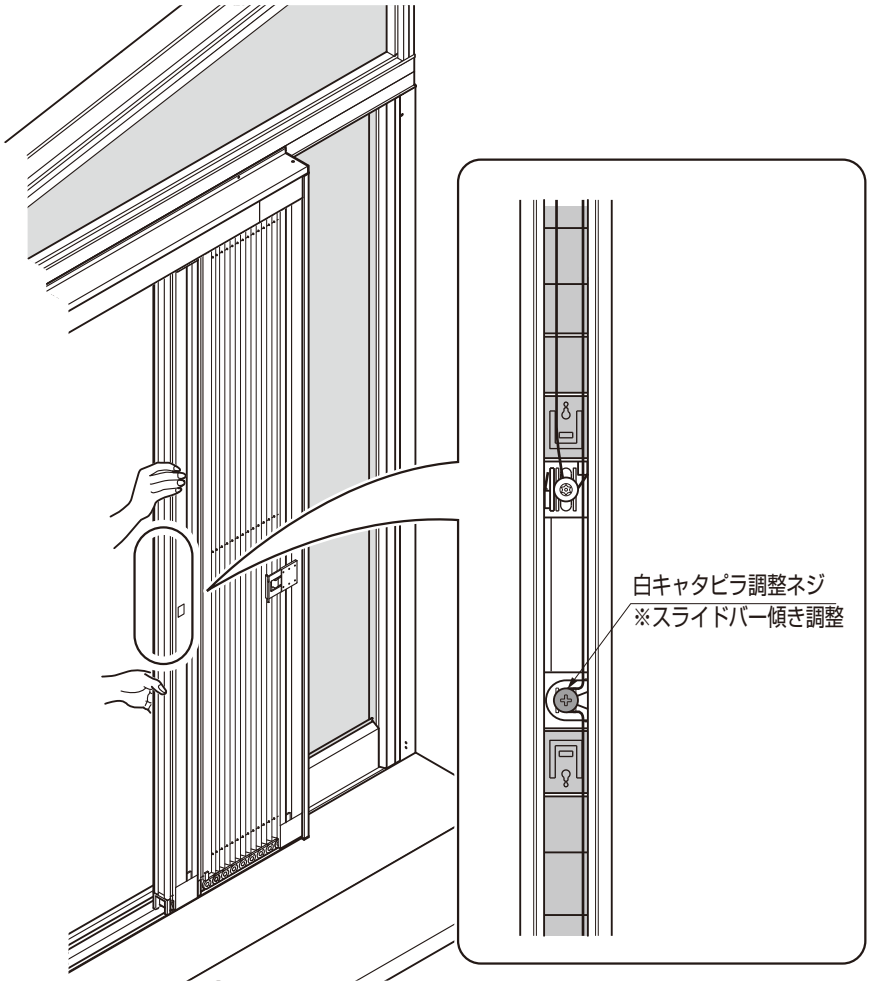
ポイント

●マグネットホルダー内のマグネットには向きがあります。
元に戻す際に向きを間違えないために、テープなどで印をしておくことをお勧めします。

10.（つづき）

10-2 つづき

（2）スライドバーの調整



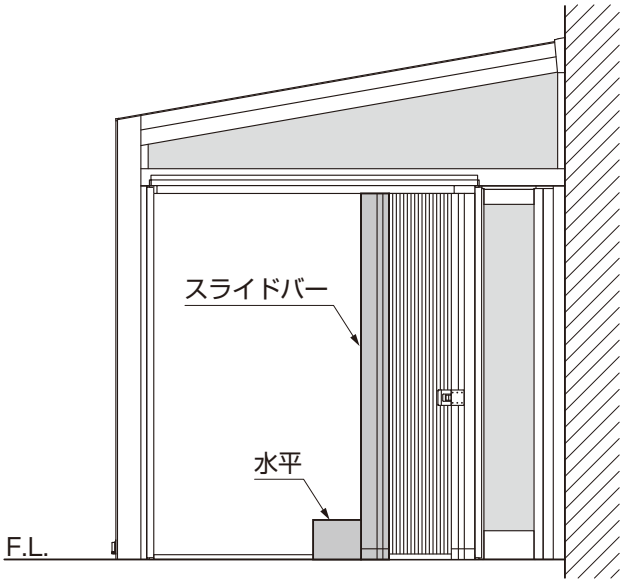
①白キャタピラネジを緩めてください。

②スライドバーの上下を持って水平にしてください。

③白キャタピラネジを締めてください。

ポイント

●ネジは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用すると、ネジが破損する場合があります。



（3）マグネットホルダー固定の確認

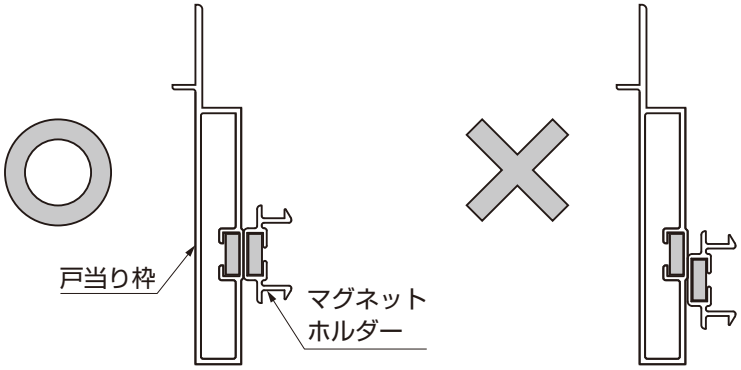


図10-3　片引きの場合

①マグネットホルダーが戸当り枠（片引き仕様）もしくは、引き分け本体のマグネットホルダーに固定できるか確認してください。

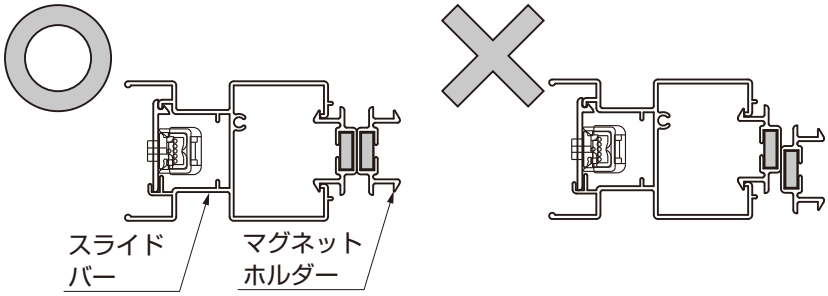


図10-4　引き分けの場合

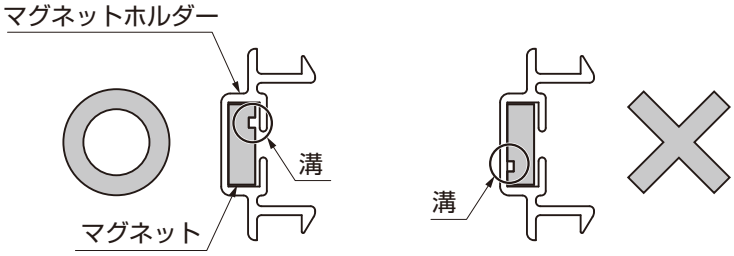


図10-5　片引きの場合

補 足

●図10-3、図10-4のようにマグネットホルダーがズレて固定される場合は、マグネットの溝を図10-5、図10-6の通りにしてください。

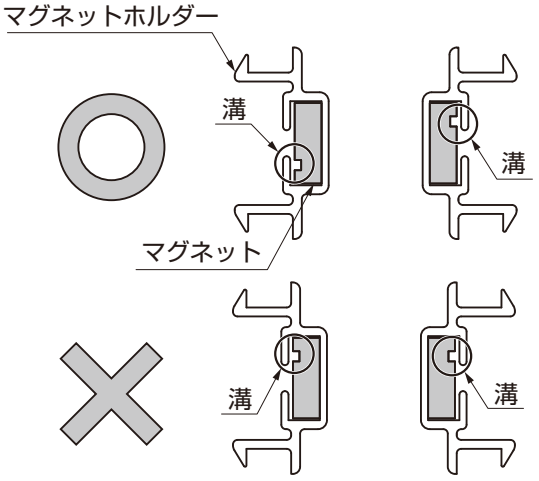
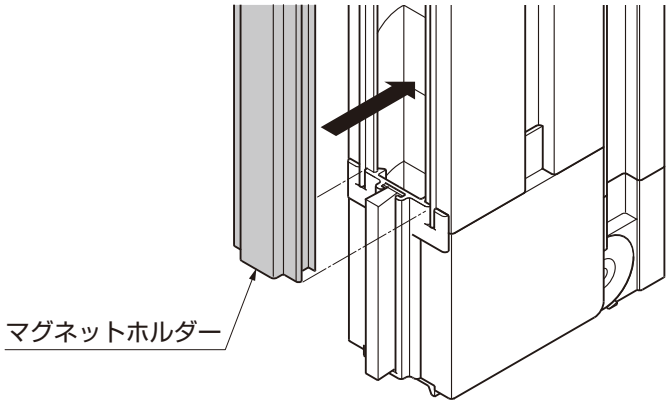


図10-6　引き分けの場合

10.（つづき）

10-2　つづき

（4）マグネットホルダーの取付け　※全ての調整が終わったことを確認した後に行なってください。



①マグネットホルダーを、スライドバー下部の溝に合わせ、押付け取付けてください。

②下から順にマグネットホルダーをスライドバーに押付け取付けてください。

10-3　キャタピラが外れてしまった場合

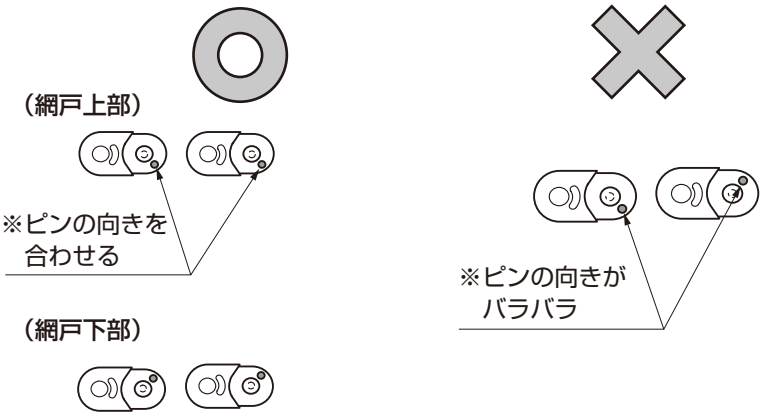


図10-7　キャタピラの向き

①図10-7のようにキャタピラの向きに注意しながらはめ込んでください。

補 足

●図10-8のように押広げながらはめ込むと、簡単にできます。

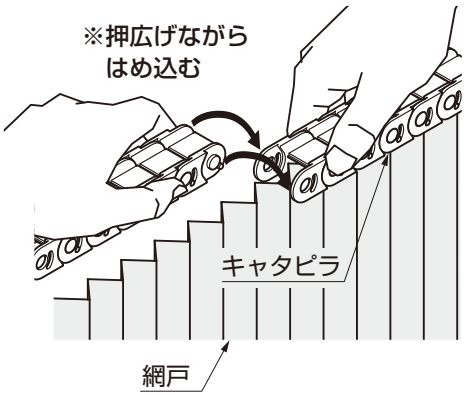


図10-8　キャタピラのはめ方

取説コード
E321

JZZ621917D
201102A_1039
201607E_1039